

今年こそ e-Tax !

篠崎 辰夫

昨年、「パスワード」と「暗証番号」にさんざん振り回されて挫折したので、今年こそは、と「e-Tax」の確定申告に挑戦した。

まず、昨年つまずいた「パスワード」と「暗証番号」を事前にしっかり準備して臨んだが、相変わらず「マイナンバーカード」が「公的個人認証カード」や「ICカード」、「暗証番号」が「パスワード」「署名用パスワード」と、所々「名称」がバラバラで分かりづらい。昨年学習しているので、ここはクリアしたが、せめて「名称」は統一して欲しい。縦割り行政の組織では難しいのか。

パソコンのブラウザは、相変わらず「Internet Explorer」だけ。いつもは「Google Chrome」なので切り替えねばならない。これもなんとかして欲しい。

今年から医療費控除の様式が変更されたため、そこで若干つまずいたが、あとはスムーズに行き、無事送信することが出来た。わずかだが還付金も貰えそうだ。昨年のリベンジを果たすことが出来た。

しかしまだまだ e-Tax はややこしい。e-Tax 申告には、最初にマイナンバーカードの取得や、IC カードリーダーの準備、事前準備セットアップ、マイナンバーカードの e-Tax 登録・・・等の事前準備が必要で、やっかいだ。

これらの事前準備なしで、「確定申告書等作成コーナー」の「書面提出」で作成して郵送する方法もある。指示通りに入力していくだけで簡単に提出資料が出来上がる。最初はこの方法が手っ取り早く便利でいいかも知れない。

実は、当初は昨年のように、この「確定申告書等作成コーナー」で作成して、それを印刷して提出しようかと思ったが、昨年の挫折が頭にあり、リベンジに心が動いた次第。これも呆けないためのいいクスリです。

(2018/2/20)

<余談>

今、確定申告の時期を迎えた納税者の怒りが爆発している。その矛先は、森友問題で虚偽答弁の疑惑を持たれている佐川国税庁長官。かわいそうにマスコミに追いかけて、一時は自宅に戻れず、逃亡犯のような日々を送っていたらしい。上の指示に従ったものだろうに、気の毒だ。

このような、上の指示に従うことで出世しようとするを「佐川現象」と呼んで、その蔓延を指摘する向きもあるが、いずれにしても、権力者のために平気で国民を欺くような、第二、第三の「佐川氏的官僚」が増殖していくことのないように願いたい。

以上